

# 富士タイムトライアル

——渡辺氏の場合

渡辺秀樹

<目的> 富士スバルラインを、料金所から、五合目まで走る時間を測定し、比較する。サイクリングを楽しむことよりも自分の力(リキ)を証明することを目的とする。

<装置> チャリンコ

ギア、48×32T、15×17×19×21  
×24T

動力、人力

<方法> とにかく速く走ればよい。

S T A R T

↓  
一合目

↓  
二合目

↓  
三合目

↓  
四合目

↓  
G O A L (五合目)

<結果>

26 / 7 34 S (10位)

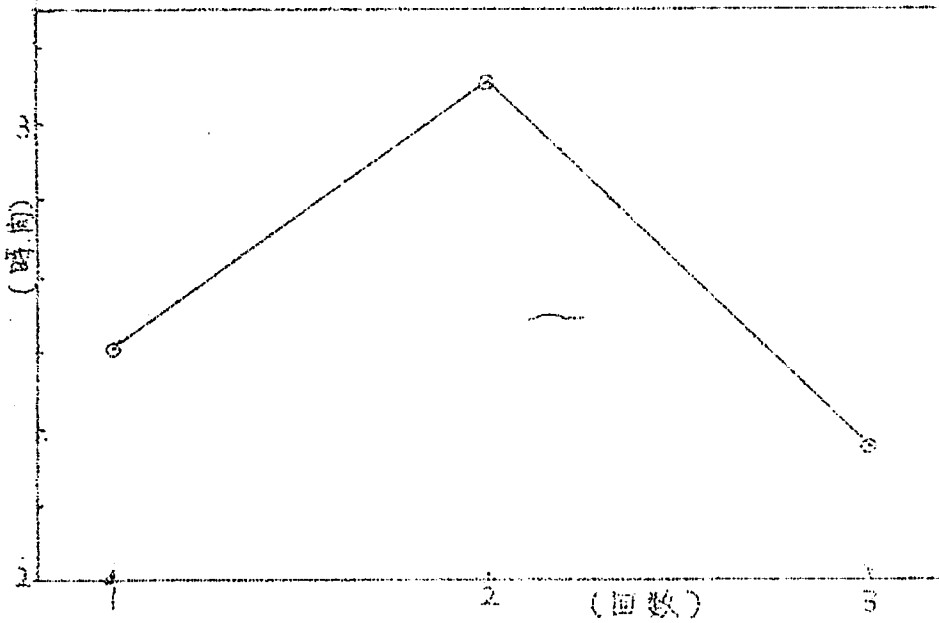
<考察> 今回の測定は3回目であるが、参考のため、各回の記録を、記述するとは可也。

1回目 昭和52年 2h 30m 32s

2回目 昭和53年 3h 05m 12s

3回目 昭和54年 2h 17m 34s

グラフにすると次のようになる。



2回目の記録が異常に悪いが、これは測定ミスだろうか？

昭和53年は、私にとって天中競馬の年ではないし、原因ははっきりとはわからない。

・ 腹の出ぐあいと記録について……

昭和53年後期から私の腹はぐんぐん出てきた。当然体重は増加している。かといって、これといったトレーニングはしていないので、馬力は変わっていない。単位重量当りの馬力は落ちているはずである。ところが、昭和53年より、

昭和44年のほうが、記録が向上している。腹の出ぐ高いと、記録との関係は現在のところ、はっきりした研究はない。今後数年、この分野の研究はさかんになるであろう。

○ 各人との記録の比較

Y氏	1	40	49
K氏	1	46	55
M氏	1	59	32
S氏	2	00	28
K氏	2	01	09
I氏	2	01	34
Y氏	2	03	00
H氏	2	07	45
N氏	2	10	43
渡辺氏	2	17	39
I氏	2	17	50
O氏	2	20	00
D氏	2	22	39
N氏	2	36	17
S氏	2	42	06
U氏	2	52	03
S氏	2	56	32

H氏 3442m52s

S氏 リタイア

平均 2420m00s

標準偏差 29m21s

後辺氏の偏差値 49, 18

※ この場合の偏差値は低いほうが成績がよいことになる。

前、Y氏(トッポ)の偏差値 36, 27

H氏(ゲテ)の偏差値 79, 05

それにしてはH氏は他と目一杯引き離してペケで歩いた。去年の私の最悪記録(クラマ歩上)に競ったか(見えた)至もずいぶん引き離してくれた。

以上から私の方はサイクリング部内ではごく標準とみなすことができる。来年はもっとガンバリたい!

<所感> しかしのずか23kmのコース、平地だったから、瞬間で走れるだろうに、坂道だとこれだけの差がっく。体力のちよっとした違いが10分程度の記録の差をよぶ。あたるしりぞるなあ。若さん日頃からトレーニングでもやったら! えっ、私! 私はニコニコやってます。マヌこそ我がトレーニング也。これはほんの冗談でした…… (ドキッ)